

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 本巣松陽高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年10月24日(月) 13:10~15:10
- 3 開催場所 本巣松陽高等学校 银杏館会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	川治 秀輝	本巣市教育長 (欠席)
副 会 長	長屋 由喜子	公益財団法人加藤記念奨学会理事
委 員	石川 孝信	もとす広域保護司(地域住民代表) (欠席)
	大草 由美	元PTA会長(地域住民代表)
	池戸 良和	PTA会長
学 校 側	池田 哲也	校長
	種田 昭彦	教頭
	高橋 正人	事務長
	笠井 智子	教務部長
	山本 博	生徒指導部長
	不破 真之介	進路指導部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 本巣市を拠点とする企業との連携について

意見1: 本巣市を拠点とする企業には、製造業を主とする企業が多い。このような地域の実情はあるが、その一方において、本校生徒の進路希望を見ると、医療・看護系、保育系への進学希望者が多い。生徒の進路希望の実態等を踏まえ、一部の業種に偏ることなく、幅広い業種との連携を考えていくとよい。

意見2: 単なる職場訪問に終わるのではなく、職場体験を取り入れるとよい。例えば、製造業の場合であれば、モノを作る現場とともにモノを企画したり販売したりする現場も訪問することを考えるとよい。生徒には、そのような機会を生かして、幅広い視

点から職場を見て、自己の進路希望の形成につなげて行ってほしい。

意見3：地元企業との連携事業について、地元に着愛を持ち、地元に貢献することを考えるきっかけとなり、大変有益ある。その際には、厳しい経営状況にある医療・福祉系の業種との連携を取り入れてほしい。

(2) 「スクールポリシー」に基づく『授業アンケート』等の改善について

意見1：これまでの基礎・基本の習得等に加えて、「探究心の喚起」や「学ぶ楽しさの実感」等が盛り込まれており、現在求められている学習指導を反映したものとなっていることについて非常によい。

意見2：授業における「対話・協働」の面において、本日の授業参観を通じて、教師からの問い掛けに対する生徒の反応が薄いところが見られたので、問いかけの表現や方法等を工夫するとよい。

(3) その他

意見1：毎年実施される「生徒及び保護者等を対象とするアンケート（学校評価）」等を活用して、選択肢のみによる回答とともに、自由記述欄等を設けて、生徒及び保護者の学校に対する思い等を把握するとよい。

意見2：第1年次における入学生オリエンテーション等の際に、高校生活のルールやマナーの伝達等とともに、入学してよかったと思えるような学校の魅力、生きがいを発信していくことを考えるとよい。折角入学した学校であるので、本校での3年間の学びによって実現する理想の自分を描けるようにしてほしい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、今年度の前半を終えての課題や今後の学校運営等について、どの委員からも活発に意見が得られ、本校の運営方針やその改善のための具体的な手立ての示唆を得た。すぐに改善できる点については、実行していく。また、学校運営協議会委員の方々はもとより、学校の職員間でも情報を共有し、未来志向の学校運営を積極的に行っていくことを確認した。